

あきる野市 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実績

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	交付対象事業の名称	事業の概要等	実績額 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	立地環境を生かした企業誘致事業	圏央道ICに近接した立地環境を生かし産業系市街地として位置づけられている地区における企業誘致を推進するための基礎調査を実施し、調査結果に基づく土地利用計画案に合致する企業に特化したアプローチをすることで、効果的な企業誘致に結びつける。	7,000,000	指標①	事業計画策定に向けて取組中の案件	2	件	平成28年3月	2	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	「しごと」づくりは地方創生において重要であることから、産業系市街地の基礎調査などの本取組は、一定の成果があった。	追加等更に発展させる	今回、実施した基礎調査を基に、本案件を進めるとともに、今後予定されている区画整理事業による企業についても総合戦略に位置付け取り組んでいくため
				指標②										
				指標③										
				指標④										
2	地域資源を活用した観光振興事業	あきる野市は、都内にありながら自然環境に恵まれ、歴史、伝統文化があり、農産物の生産も盛んであるため、この地域資源を生かした観光プロモーションを展開している。この都心に近い観光地の立地を生かした外国人旅行者など新規顧客の誘客に伸びしろが期待できるため、最新の観光情報や多言語対応の情報提供、また、人材育成によるおもてなしの心の醸成など観光客の受入環境を整備するとともに、メディアを活用した観光情報のシェアによる波及効果等による新たなプロモーション活動を展開していく。	13,892,491	指標①	Wi-Fi設置	10	か所	平成28年3月	10	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	外国人観光客に対する観光振興が増える中、多言語化やインバウンド対策に有効であった。	事業の継続	2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、外国人観光客を含む観光対策が必要になるため
				指標②	デジタルサイネージ	4	か所	平成28年3月						
				指標③										
				指標④										
3	新規就農者マッチング事業	あきる野市では、公的な研修などを修了した新規就農者に対して、経営に必要な経費の支援を行っているが、農業を実施する段階で適当な農地や住居が見つからない現状がある。このため、住居、農地、農機具や設備などの就業環境を総合的にコーディネートする相談員を配置し支援する。農地は、高齢化により課題となっている遊休農地の利用集積を行うことで、新規就農者へ貸し出しをコーディネートし、経営体としての自立につなげる。	941,400	指標①	新規就農者	2	人	平成28年3月	2	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	相談員を配置し、新規就農者を支援することで、新規就農者数は、2人であったが、農業振興に対し一定の効果があった。	事業の継続	新規就農者の確保及び遊休農地解消については、市の農業振興において、引き続き取り組むべき施策であるため
				指標②	遊休農地解消面積	3,000	m <sup>2</sup>	平成28年3月						
				指標③										
				指標④										
4	地域で子ども育成事業	人と人とのつながりが希薄になっていく中で、あきる野市の未来を担う子どもたちを市全体で育成する環境を整備するためには、地域で子どもたちを囲み育てることが重要であることから、「地域子ども育成リーダー」を養成する。また、多くのイベントで子どもを主役として位置付けて、地域とのつながりの場とともに、活躍と飛躍の場をつくり、郷土への愛着を育むことで、将来的な定住につなげていく。また、市民等からの提案型の少子化対策、子育て支援事業など地域での活動を支援する。	3,806,040	指標①	地域子ども育成リーダー認定者数	60	人	平成28年3月	102	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	市民との協働により将来を担う子どもを育成する人材を発掘・認定することにより、市全体で子育てを育てる環境整備ができた。また、次世代を担う子どもを主役として位置付けた各種事業により、地域とのつながりや郷土愛の醸成に寄与した。	事業の継続	次世代を担う子どもたちの育成により、あきる野市に愛着を持ってもらい、将来、自分のまちに住んでもらうなど、郷土愛を持った人材育成を継続する必要があるため
				指標②										
				指標③										
				指標④										
5	子育て・保育環境整備事業	現在市役所には、授乳施設やキッズプレールームが設置されていない。そこで、子育て環境を整備するとともに、子育て中の親の積極的な行政への参画を促すために授乳施設とキッズプレールームを設置し、地域資源である秋川産材を活用した遊具を置く。また、保育所等に対して、秋川産材の玩具や絵本、地元のおばなしなどの紙芝居や楽器などの購入費を支援し、幼児期の教育、保育環境とともに郷土を思う心をもつ郷土教育を推進する。	7,898,532	指標①	市民アンケートの20代・30代・40代男女の子育て支援施策満足度(5ポイント増加)	13.4	%	平成28年3月	22.1	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	授乳室の整備とともに、子育て支援のイベントを展開することで、相乗効果のある施策展開や子育て世代への支援を進めることができている。	事業の継続	子育て世代に対する公共施設等への保育環境の整備とともに、整備に当たっての地域資源を活用することで郷土愛を育てていく必要があるため
				指標②										
				指標③										
				指標④										
6	新生児誕生お祝い事業	あきる野市では、市全体で子どもを守り育てる子どもが主役のまちづくりを進めている。このため、新生児が誕生したときに、当市に伝承される伝統技術である草道紙のメッセージカードとともに、地元産の野菜や地域ブランドなど地域の特産品3,000円相当と交換できるクーポン券を希望者に手渡し、子どもの誕生とともに祝い、子育てを支援する。また、地域ブランドが市民にあまり認知されていない現状を踏まえ、野菜や特産品など地域の魅力を多くの人に知ってもらう機会とする。	1,272,609	指標①	市民アンケートの20代・30代・40代男女の子育て支援施策満足度(5ポイント増加)	13.4	%	平成28年3月	22.1	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	地元産の野菜や地域ブランドなどの特産品を提供することなどにより、子どもの誕生をお祝いするとともに、地域の魅力を多くの人に知ってもらう機会の提供ができた。	事業の継続	平成26年の出生率について、東京の区市で最高の1.43であったものの、引き続き、出産に係る機運醸成を図る必要があるため
				指標②										
				指標③										
				指標④										